

研修報告書

東かがわ市議会議員 山口 大輔

研修先：高瀬町農村環境改善センター
研修日：2016年2月11日（木）9:00～
研修テーマ：「元気なまちづくりをしよう！」
主催：まちづくり推進隊高瀬

1. 研修内容

Facebook で偶然流れてきたイベントに思わず反応し参加してきました。内容はよく分からなかったけど、面白そうと感じたらまず参加（体験）というリトル山口の声にしたがって参加。若い人にも参加してもらいたいと言う主催者の思いから高校生も多数参加していた。

(1) 講演

香川大学の古川教授と学生による「地域と大学の連携によるまちづくり」と題した講演ならびにプレゼンがありました。各地で学生が主になって活動している事業は次のとおり。

- ・小豆島 坂見で喫茶店経営
- ・坂出王越 ゴツシュ
- ・直島 和カフェぐう
- ・鬼無 Bonsai Girl's 等々

古川教授の講演では、「主役は地域の一人一人」「**地域活性化に答えはない**。立場によって答えは様々である。自分たちがどの立場で活動するかが重要」という話を聞く。

また大学にとって地域活性化事業の目的は、大学生の成長の機会と言われる。教育の場として大学が位置づけているため、地域が活性化しても、学生に成長がなければ企画としては失敗となる。学生、地域がともに **win-win** になるようにしたいとも言われる。

(2) 自主事業発表

3つの分野を代表し、それぞれの代表が発表を行った。事業内容については予算、参加者等の詳細については配布資料に記載されていたため、単なる事業報告ではなく、講師が自分たちの思いを語る場所となった。

(3) パネルディスカッション

高木理事長の司会の下、古川尚幸（香川大学教授）、丸山輝裕（NPO 法人）、荒脇健司（三豊市職員）、宮崎史郎氏の4名がパネラーとしてそれぞれの話や質疑応答を行う。以下自分のメモより抜粋。

- ・皆一緒にやりましょうでは続かない。縦ではなく横並びの輪が必要。
- ・始める人がいてその周りには、共感、周知する人が集まる。その中から興味や関心がある人が集まって輪が広がってくる。
- ・市民活動は横に広がる
- ・役所のサービスは全てを網羅するのではなくなくてはならない行政サービスの担い手。公共サービスなど可能であれば一人一人が担い手になって運営していくことが理想。
- ・いやな事は続かない。楽しいことしか続けられない。そこを見極めてあげるのも行政の仕事。
- ・行政と車の両輪として市側が活動していく←まちづくり推進隊
- ・Q)社会活動や慈善活動など地域課題の取り組みをどうするのか。A)強制したり依頼する事は現時点では考えていない。自発的な行動が出ている所もある。今後どのような方向で活動していくかは検討中である。
- ・活動は楽しく、でも運営はプロとして行う。
- ・新規会員は増えている
- ・意見を出して何かしたい人は会員になり提案してくる。理事会で決議が出れば提案者が主になって企画を実行（岩手SCの言いだしっぺ制度と趣旨が似ている）
- ・1団体に1千万以上の運営資金が行政から出ている。活用や事業分配は推進隊に一任。

(4) お楽しみ会「餅つき&おしるこ」

災害時にも役立つ炊き出しの1つとして、全員で実施・・・するはずだったが私は会場に残っているいろいろ話をしている間に終了しており、降りていたら終了していた・・・食べたかった Orz

2. 研修の感想・考察

コミュニティ事業は多くみられるが、最初から一定額の予算を計上し、協議会の中で実施する事業計画を検討し予算配分までできる事業に驚いた。市も地域にこれをしてほしい（福祉事業等）と言う要望を出さずに、住民主体で活動している。地域によって差は見られると思うが、NPO法人化し運営するなど3年間で一定の効果を出しているように思われる。今回の企画も推進隊自らが企画したもので、行政が一切企画に関与していないことにも驚きを感じた。自分たちでしたい事は自分たちで行う。行政側の協力がほしいときも自分たちで意見を出し参加を促すと言う形が根付いていると感じた。

特に印象的だったのは、終了後スタッフの一人が、この推進隊が本当に楽しいんですと笑顔で話しかけてくれたことだった。他市からの参加であったため声をかけてくれたと思うが、講師や司会等ではない1人のスタッフまでこういう思いで行動している活動が盛り上がらないわけがない。市の事業ではなく、あくまで市民主導型事業。自治会をはじめ、個人がかかわるどんな場面にも活用できるアイデアを頂いた。

最後になるが、講師の「市民はやろうと言う意欲やアイデアはいっぱいある。でも運営や組織づくりは苦手な人が多い。そこを行政が少し手助けするだけで市民主導型の活動が進むのではないだろうか」というメッセージを記録として残したい。

やろうと思えばいろいろできるさ。そう感じた研修であった。

3. 受領資料

- ・レジメ
- ・健康づくり応援団の取り組み
- ・記号ふるさと論 みとよイズム
- ・入会申込書